



●特集

誰もが自分らしく暮らすために

～障がいのある方の自立に向けて～



あなたは障がいのある方の就労と聞いて何を思い浮かべますか？

その人らしく生きるためには、障がいがあってもなくても、働くことは暮らしの大切な要素です。

平成18年4月に施行された障害者自立支援法では、障がいのある方が、地域で安心して暮らせる社会の実現を目指しています。

今回の特集では、障がいのある方が障がい者福祉施設などで働く、福祉的就労について取り上げます。

一般就労と福祉的就労

障がいのある方の就労には、大きく分けて一般就労と福祉的就労があります。一般就労とは、その名前のとおり一般の企業などで働くことで、障がいのある方が一般の就労者と一緒に働いています。

一方、福祉的就労とは、障がい者福祉施設などで働くことです。施設では、農産物や繊維製品などの自主製品を作って販売したり、企業や官公庁から清掃や組み立てなどの業務を請け負ったりしています。施設には、専門のスタッフが配置され、障がいのある仲間同士が安心して働くことができる環境があります。ただ

し、こうした施設で得られる工賃はわずかで、月額1万円に満たない施設がほとんどです。

本来、働きたいという気持ちを抱く障がいのある方すべてが一般就労でいることが望ましいですが、現実にはそれが難しい状況にあります。一般就労できるのは、ごく一部の方で、それ以外の方は福祉的就労をするしかありません。

このような状況の中、障がいのある方が地域で自立した生活を送り、社会参加を促進するという就労の意義を考えたとき、現在、施設で得られる工賃は十分とはいえません。

障がいのある方に働く機会を

市内には、障がい者福祉施設と企業などとの仲介の役割を担っている障がい者就労情報センター（以下、センター）があります。約2年前、NPO法人はばたき内に開設されました。このセンターは、障がい者福祉施設の共同受注窓口となり、企業や行政などから仕事を受注し、受注した仕事を各施設に分配しています。現在、センターには10施設が参加しており、各施設の工賃アップを目指しています。

センターで共同受注の窓口として、企業や行政などへ営業活動を行っている齋藤勲さんにお話を伺いました。

仕事受注の共同窓口

障がい者就労情報センター

☎(25) 3384・FAX(25) 3385



齋藤勲さん

NPO法人はばたき

障がい者就労情報センター共同受注担当
元民間企業の営業マン。企業や行政などからの受注増加に向けて取り組む。

齋藤さんは、昨年の10月からセンターの共同受注担当として働いています。

まず、仕事を受注するための営業活動についてこう話してくれました。「民間企業で6年間営業の仕事をしていましたが、センターでの営業活動はまったく別物です。企業で営業の仕事をしていたときは、新製品の紹介などだったため、相手は決まっていた。しかし、今は新規開拓の営業で、話を聞いてもらうだけでも大変です。まず、電話をしてから

障がいのある方の仕事の能力は高い

何か仕事があればすぐに連絡してほしい

企業を訪問しますが、電話だけで断られることもあります。感想として現在企業は、「雇用情勢も厳しい中、外注の仕事まで回すものがない」

「コスト面で従来の仕事をすでに合理化していて、外注の仕事自体が減っている」「品質面で髪の毛一本で大問題になる時代なので外注しにくい」ように思えます。景気が上向いたら仕事を出すと言ってくれる企業はありますが、受注に結びついたものはほぼありません。受注額は、現在のところ、昨年度に比べて6〜7倍くらいになっていますが、受注

した仕事のほとんどは官公庁からのものです」。

しかし、営業活動が新しい取り組みに結びついたこともあります。ジャスコ今市店で8つの障がい者福祉施設による共同展示販売会を開催することができました（次ページ下段参照）。この販売会について何うと、「ジャスコへ営業に行ったとき、イベント会場を貸すことができるという話をいただきました。各施設に相談したところ、賛成していただき、開催することができました。多くの

お客さんにも来ていただき、いろいろな物も売れて、各施設でも好評でした」と答えてくれました。

最後に齋藤さんは、「最初は潜在的に仕事があると思っていましたが、実際はほとんどありませんでした。今後は、私自身が発想の転換をしていかなければいけないと思っています。今までは部品関係の企業を考えていましたが、今後は介護や農業方面にも営業を広げていこうと考えています。

仕事を受注させてもらえば、コスト的には安くできると思います。

官公庁での取り組み

市や公共施設振興公社、社会福祉協議会などでは、障がいのある方の自立を支援するため、センターを通して、各施設に業務の発注や、各施設から物品を購入しています。それ以外にも市役所内で各施設の売り場を提供したり、カタログを作成したりしています。

清掃業務

公共施設振興公社では、現在10カ所のポケットパーク（公園）の清掃を発注しています。



会議録の作成

市議会では、常任委員会と議員全員協議会の会議録作成を発注しています。会議録は、録音テープを聴きながらパソコンを使って作成しています。



売り場の提供

市役所本庁舎2階では、毎週金曜日の午前11時〜午後1時までの2時間、障がい者支援施設の自主製品を販売しています。皆さんもぜひご利用ください。



障がい者支援施設の自主製品カタログの作成

市では、障がい者支援施設と、その施設の自主製品・販売品や受注業務を紹介するカタログを作成しました。



障がい者福祉施設に仕事を任せると、品質や納期を心配する企業があるかもしれませんが、自信を持って推薦できます。どんな仕事でもいいので何かあれば連絡してください。また、作業の受注だけでなく、各施設で作っている自主製品を販売できる場所も探しています。障がいのある方の工賃アップのためにも連絡をお待ちしています」と話してくれました。

共同展示販売会

6月、ジャスコ今市店の1階で、市内障がい者福祉施設による販売会が初めて開催されました。会場には各施設で作製した小物や野菜、花などの自主製品がずらりと並びました。

この販売会は、11月9日（火）にも同店舗で開催されますので、皆さん足を運んでみてください。



施設の自主製品と作業

現在施設では、自主製品の販売や請け負っている作業が少ないため、障がいのある方に対して、十分な支援活動ができていません。

主な自主製品や請け負っている作業は、表のとおりです。ほかにも対応可能なものがありますので、詳しくは各施設または、センター（4ページ参照）へお問い合わせください。皆さんからの発注、協力をお願いします。



① 針1針丁寧に刺し子(花ふきん)を作ります ② 陶芸製品を慎重に窯へ入れます ③ 花を植えるためのポットを準備します

施設で働く人たちの声

施設で働いている障がいのある皆さんは、どのような思いで働いているのでしょうか？

市内の障がい者福祉施設で実際に働いている方々にお話を伺いました。

■みどりのき

おおつか まさひこ
大塚 雅彦 さん



■はばたき事業所

ひろた としこ
広田 敏子 さん



■ふれあいの森パン工房

さとう すみこ
佐藤 澄子 さん



グループホームから施設に通って働いています。アルミ缶の回収や物品の組み立て、農作業などをしていますが、特に外に出て作業することが楽しいです。工賃は、旅行に行くために貯めたり、好きなラーメンやお寿司を食べるために使ったりしています。一般就労したいという目標があるので、今は施設で一生懸命頑張りたいと思っています。

この施設で働き始めて6年目になります。今の施設は自分にとっても合っていて毎日楽しく作業しています。主な作業は、部品磨きやお線香の箱詰め、ダンボールのテープ貼りなどです。ドライブが好きなので自動車のガソリン代や子どもへのお小遣いなどに工賃を使っています。周りがいい人ばかりなので、もう少しここで頑張りたいです。

私の働く施設では、パンなどを販売しており、お客さんが来たときの接客などが仕事です。この仕事を始めて自分に自信が付き、自分の特性が生かせていると思っています。この前、少ない金額ですが、人生で初めてボーナスをもらいました。これからの目標は、決められた日数と時間を出勤して、仕事をこなせるようになりたいです。

▶ 障がい者福祉施設一覧 ◀

番号	施設名	住所	電話番号	主な自主製品・販売品	主な請け負っている作業
1	足尾通所療育授産施設	足尾町2119-2	☎93-2210	バイオディーゼル燃料	清掃、草刈り、除草、ハンガーサイクル
2	すかい	足尾町2084	☎93-2003	花(サルビア・マリーゴールド・ペゴニア・ビオラ・パンジーなど)	ボルト類の袋づめ、ダンボール・アルミ缶などのリサイクル
3	ほっとみるく	足尾町赤倉3-24	☎93-0711	ネックレス、カゴ、岩魚くんせい、刺し子(花ふきん)	草刈り、トイレ管理、施設の清掃
4	あいこう 愛晃の杜	花石町1846-1	☎53-6166	フラワーアレンジメント(造花)、軍手人形、タオルドレス	清掃(道路・旅館・公園)、草刈り、除草、商品箱の組み立て、封入れ
5	ふれ愛の森事業本部	今市815-2	☎22-7438	パン、クッキー、ジャム、お弁当、お箸、刺し子、布製バッグ	公園清掃、封入れ、商品箱の組み立て、工業製品の袋詰め、布の裁断
6	ふれ愛の森パン工房	今市353-3	☎22-6118	せっけん、プレスレット、ティッシュカバー、テレビ枕、牛乳パックいす	部品の組み付け、線香の箱詰め、封入れ、チラシへのリボン付け、清掃、除草
7	はばたき事業所	今市本町16-9	☎21-3365		
8	まつぼっくり事業所	鬼怒川温泉大原2	☎77-2711		
9	NPO法人より道	大沢町地内	☎23-8211		現在、グループホームとケアホームのサービスを提供
10	夢の森	大沢町274	☎32-2280	木工製品、陶芸製品、バッグ、コースター、ポーチ	紙袋作り、箱折り、公園清掃、ボール洗浄
9	すぎなみき学園	板橋2610-1	☎27-3100	シイタケ、干しシイタケ、野菜(ジャガイモ、タマネギ、ネギ、ナスなど)	アルミ缶回収、封入れ、部品組み立て、公園清掃、箱の組み立て、シールはがし
10	みにまに工房	瀬川186-5	☎22-3955	針金三輪車、革工芸作品、シルクスクリーン製品	郵送作業

編集を終えて…

施設で働く障がいのある方が、地域の中でその人らしい自立した生活を送るためには、仕事があつて、工賃が上がりさえすればよいわけではありません。働くことだけではなく、ほかのいろいろな支援も必要になります。

しかし、障がいの有無に関わらず、誰もが自分らしく暮らしたいという思いは抱いており、働くことは、生きがいにつながるなど、生活する上で重要な役割を担っています。人は一人では生きていくことはできません。誰もが支え合いながら生活しています。その中で、障がいのある方の「働きたい」という思いがある限り、それを地域で支えていくことは必要ではないでしょうか。

障がいのある方もない方も、みんな喜び、笑い、時には苦しみや悲しみを共有できる街。日光市をそんな街にしていきたいですね。

今回の編集にあたり、ご協力いただいた多くの方々にお礼申し上げます。